

学習環境

附属図書館（キャンパスマップ②）

附属図書館は、先端科学技術（情報科学、バイオサイエンス、物質創成科学）に関する教育・学術研究活動を支援するために設立されました。必要な学術情報を迅速に提供するため、資料をデジタル化（電子化）し、ネットワークを介して24時間提供する「電子図書館」を構築しています。テキストだけでなく、音声情報、映像情報を含むマルチメディア情報を、統合化してデータベースに蓄積し提供していますので、WWW（World Wide Web）のブラウザ環境があれば、いつでもどこからでも利用いただけます。図書や雑誌の書誌・所蔵情報や目次情報だけでなく、全文をそのまま画像イメージで、研究室などの端末から検索・閲覧することができます。

また図書や雑誌を冊子体で提供する従来型の図書館サービスについても、本学の教職員および学生は24時間利用できます。

電子図書館の主なサービス

1. MyLibrary 機能

利用者一人一人の利用形態にあわせて、専用のページを構築できます。これにより、定期的に参照しているコンテンツ、自分自身の検索履歴等の管理、オンラインコンテンツの管理が行えます。また、電子図書館内に格納された資料とオンラインジャーナルを横断的かつ効率的に検索・管理することができます。

2. 学内生産物の組織的な保存、管理

学内の教員、研究者および学生などが生産するテクニカルレポート、科学研究費補助金研究成果報告書、学位論文などの研究成果、また学内で行われる招待講演なども、著者または講演者から、インターネット経由で利用する許諾を得た上で、デジタル情報として収集し、データベース化することで一元的な保存、管理および提供を可能にしています。

3. 大学における教育活動との直接的連携

研究科における授業をデータベース化して公開する取り組み「授業アーカイブ事業」を平成17年度から行っています。

4. メディアセンター機能

雑誌・図書などの画像情報・文字情報ならびにビデオテープやDVDなどの映像音響情報をデジタル情報として一元的に管理することによって一体的に利用することができます。

5. 高度な情報検索

書誌・目次・抄録情報のみでは実現不可能な、本文情報を含めたきめ細かい高度な検索機能を提供しています。

6. リアルタイムでの利用

ネットワークを介して、デジタル資料を時間的遅延なしに入手することができます。

7. 同時利用の実現

デジタル資料は貸出中の心配がなく、複数利用者が同時に閲覧できます。

8. 新着情報通知機能（SDI）

本文テキストをデータベース化することにより、利用者があらかじめ登録したキーワードに合致する資料の新着情報を電子メールで自動通知します。

